

安徽大学

安徽省植樹・交流ツアー に関する報告

高知大学
教育学部
学校教育要員養成課程

2010年

○感想

你好！はじめまして、高知大学教育学部学校教育教員養成課程3回生の北北晶子です。私は、3月に、高知県の安徽省日中友好の森づくりネットワーク主催の植樹・交流ツアーで中国・安徽省に行き、植樹活動と文化交流、安徽大学表敬訪問をしてきました。私は、昨年夏に高知大学で開催された安徽大学との交流セミナーに参加して、初めて安徽省のことを知りました。この交流セミナーで安徽大学の学生と交流したり、安徽省日中友好の森づくりネットワークの方の活動紹介を聞いたりして、ぜひ安徽省に行ってみたいと思ったのが、今回のツアー参加のきっかけです。



今回の中国訪問は私にとって2回目でした。私の出身の奈良県奈良市は中国陝西省・西安市と友好関係があり、私の通っていた小学校も中国の小学校と毎年交流をしていました。私も5年生の時、小学校からの交流団で西安に行きました。小学校での中国との交流で、国際交流や中国、海外の文化に興味を持つようになりました。そのため、中国は私にとって小さい頃からすぐく身近な国だったので、安徽大学との交流セミナーや今回のツアーにも大変興味を感じました。



今回植樹活動を行った場所は、安徽省黄山市黄山区です。黄山は世界複合遺産にも指定されている非常に風光明媚なところです。出発日は、お昼すぎに岡山空港から、上海浦東空港へと飛行機で飛び立ちました。この日は中国の国内線の便がなかったため、上海に到着後、中国の新幹線で杭州に向かい、杭州からバスで黄山に向かいました。天気も雨で、黄山に到着したのは、翌日の深夜1時半頃でした。それにもかかわらず、安徽省の林業庁の方々はホテルの玄関まで出迎えに来て下さいました。ここで、今まで高知県のネットワークの方々や安徽省の林業庁の方々が築いてこられた絆の強さを実感し、感動しました。翌朝、というか日付が変わっていたので、到着した日の朝になりますが、バスで植樹現場へと向かいました。行ったところは海拔高度が400~700mで、霧が深く、現場に行く途中には茶畑もありました。安徽省は中国でも有数の緑茶、紅茶の産地だそうです。植樹は現地の中学生と一緒に行いました。私は、小学生の頃の中国との交流で中国語を使ったり、大学の教養科目の外国語で中国語を取ったりしていましたが、なにせ、中国語の発音は難しく、知っている中国語でもなかなか

通じなくて、簡単な英語やジェスチャーがコミュニケーションの手段でした。植樹の後は、中学生と一緒に環境学習をした後、交流を行い、よさこいも一緒に踊りました。言葉が通じなくても、同じことを一緒にすることによって、心を通わせることが出来たと思います。

安徽大学への表敬訪問では、大学の紹介を聞いたり、キャンパス内の見学、学生との交流をしたりしました。昨年夏の交流セミナーで出会った友達と再会ができて、話もはずみました。安徽大学のキャンパスはとても広く、1日かけても回りきれないほどの大きさでとても驚きました。今回訪問したキャンパスは、新キャンパスで、まだ他に本キャンパスがあるというから、更に驚きでした。広いキャンパス内には、芝生の広がっているところがあり、そこで本を読んだり勉強したりしている学生がいました。天気も良かったので、とても気持ちよさそうで、のびのびと勉強できそうな環境だと感じました。安徽大学の学生は他の所（高知大学で言うと赤レンやメインストリートのベンチのような所）でも、授業時間以外は本を読んだり勉強したりしているようです。朝も授業の7時くらいに大学に来て勉強をするそうです。私も、自分の生活を見直さないといけないと思いました。ちなみに、安徽大学は、寄宿制でみんな寮に入っています。アルバイトは3年生までは禁止！3年以降も職業訓練という名目でのみ許可されているようです。まさに、学業に専念！という感じです。



私にとって昔から縁のあった中国ですが、今回の訪問で、ますますつながりが強くなりました。この訪問を通して、人とのつながりの大切さを再確認しました。そして、人のあたたかさ、そして海を越えた絆の強さに感動しました。中国に行くと『熱烈歓迎！』という赤い垂れ幕がよくあるのですが、まさにそんな歓迎を受けました。初めて出会った人達ともすごく仲良くなれたように思います。安徽省林業庁の方々でこの

植樹活動に関わっておられる方々は、皆さん高知県で過去に林業の研修を受けられ、1年ほど高知で生活をされた方々でした。皆さん高知が大好きのように、高知は第二の故郷であると言っておられました。今回、私は初参加だったのですが、初対面でもとても良くしていただいて、それは、このような昔から築いてこられた絆のおかげであると思いました。出会った方々とのつながりを大切に、これからも交流を続けていきたいです。そして、友好関係

がより強いものとなるとよいなと思います。上海万博ももうすぐだし、ますます中国に注目
です！

平成 22 年 5 月 13 日